

## 株式会社ブレイゾン・セラピューティクス

- 2015年10月設立 / 血液-脳関門通過型ナノマシンの開発



## アキュルナ株式会社 (現・ナノキャリア株式会社)

- 2015年12月設立 → 2020年9月ナノキャリア社に吸収合併
- 核酸医薬搭載ナノマシンの実用化を目指す




## 株式会社イクストリーム

- 2018年11月設立 / エクソソーム解析技術の開発



## ソニア・セラピューティクス株式会社

- 2020年2月設立 / SDTシステムの開発



## 株式会社イクスフロー

- 2020年9月設立 / チップ型迅速診断装置の開発



## 株式会社PrimRNA

- 2021年4月設立 / mRNA医薬開発



## レッドアローセラピューティクス株式会社

- 2021年8月設立 / タンパク質ミセル開発



COINS

2013～

iCONM設立

2015.4 →

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021年

ベンチャー創出を通じて社会実装を展開する基盤が整ってきた

X社、Y社…

## 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE)

- ・川崎市産業振興財団KSFクラスター事業部
- ・川崎市健康安全研究所



- ・KSFのエコシステム形成
- ・市民に向けた医療情報発信

## 日東紡/SBIファーマ/ブレイゾン/ナノキャリア/ 日油/日東電工/イクストリーム 東大/東工大/医科歯科大/国がん



## 日本アミノ酸協会

## RGB II

- ・川崎市キングスカイフロント  
マネジメントセンター



- ・市によるiCONM支援
- ・クラスター化推進

## 日本メトロニック(株)



## 実験動物中央研究所



## J&J



## ペプチドリーム(株)

- ・レギュラトリーサイエンスにおける連携
- ・AMEDプロジェクトで共同研究



## JSR(株) 2021年開所



## 国立医薬品食品衛生研究所

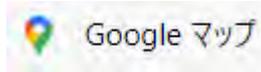


## (株)島津製作所 2022年開所予定

# 2015年12機関→現在70機関

## COINS参画機関

## 連携機関



## COINSの壮大な社会実験

- COIで唯一大学ではない拠点
- リアルなアンダーワンルーフ

## ヒト

- ダイバーシティ
- 若手・グローバル人材
- 研究支援人材



## カネ

- 競争的資金
- 地方自治体の支援
- 事業収入

## モノ

- 充実した設備・機器
- 研究事業、共創事業
- インキュベーション事業

## ● オープンイノベーション

- ✓ 大学のサテライトラボが入居
  - ✓ 入居企業にオブリゲーションなし
    - ➡ アンダーワンルーフに集積
    - ➡ 産学官連携が加速
- 大企業とベンチャーの産産連携/学学連携

## ● 人材育成

- ✓ 大学院生の実地教育
- ✓ 人材の流動化を促進
  - ➡アントレプレナーシップの醸成
  - ➡拠点発ベンチャー

学際や融合研究に踏み出す時、短期的には研究業績が低下しやすく、垣根を越える労力が必要。しかし、新たな領域は垣根を超える好奇心、行動力の先に拓ける。

最近では社会実装への意識が高い学生も増えてきた。一方、大学では人事、評価において学問分野の専門性 (discipline) を重視する傾向があり、比較的融合研究への取り組みが評価されないケースも少なくない。→ 人事と学部教育の関係性

総合知と専門知の議論は、「総合格闘技」か「ボクシング」を目指すべきかという議論と類似。目的意識の違い。社会課題の解決、well-beingの実現には総合知の活用が必須。

融合研究や社会実装に向けての取り組みをどう積極的に評価するかは課題の1つ。  
⇒評価軸・指標の多様化: Entrepreneurship, Patent (quality), Sociability etc.

## COINSの壮大な社会実験

- COIで唯一大学ではない拠点
- リアルなアンダーワンルーフ
- ・ 異分野、異業種の人々が交わる仕組み、環境作り: マグネットスペース、リトリート合宿など
- ・ 若手研究者が手ぶらで他分野の研究に取り組める環境: 共同利用設備、技術支援
- ・ たこつぼ ⇒ るつぼ を可能にする仕組み

どうしてCOINSから9個ものスタートアップが生まれたのか？

COINSの目指すビジョンに沿う、世界的に競争力のある技術・事業シーズに対し、(多様な)ヒト・モノ・カネが投入されることで優れた先行事例が創出される

優れた先行事例を基に議論が喚起され、次々と参加者が生まれて社会実装への基盤整備も加速度的に進展する



結果的にスマートライフケア社会に向けた社会基盤(倫理やガイドライン、臨床研究の基盤、薬価制度など)が整備され、体内病院システムが円滑に社会に浸透していく

## 産学官のプロジェクト参加者が泊り込みでリトリート合宿(マインドセットの醸成)

2014 産学官融合によるオープンイノベーションのあり方は？  
～iMECの成功事例に学ぶ、iCONMのビジョンは？～

2015 世界で最もイノベティブな拠点にするためには？  
～iCONMビジョンを達成するためのミッションは？～

2016 体内病院を実現するためには？  
～革新的技術の社会実装の課題とは？～

2017 体内病院実現に向けた戦略を考える  
～事業化、社会実装戦略と知財戦略～

2018 持続可能なイノベーションプラットフォームの成功の鍵を探る  
～あるべき姿、ステップ/マイルストーン、K S F～

2019 グローバル化とAI 時代の到来を見据えて  
～世界に名が通る iCONM に！ AI 時代の研究は？～



## 今後の課題

- ・ 持続可能なイノベーション・エコシステムへさらなる進化
- 外部からのリソース(人材・資本・技術)を集積・循環させる“仕組み“
- 多様なステージ(揺籃期から成長期まで)のスタートアップの育成(incubation)